

5 ...して

to + 動詞の原形 (原因を表す副詞的用法)

基本文 I am surprised **to see** this.

私はこれを**見て**驚いています。

- ポイント**
- ① surprised 「驚いた」, happy 「うれしい」, sad 「悲しい」 などの、感情を表す形容詞に〈to + 動詞の原形〉を続けると、「...して」と感情の原因を伝えることができる。
 - ② 〈感情を表す形容詞 + to + 動詞の原形〉には、次のようなものがある。
- 例** ☐ be **surprised to** ... 「...して驚く」 ☐ be **happy to** ... 「...してうれしい」
☐ be **glad to** ... 「...してうれしい」 ☐ be **sad to** ... 「...して悲しい」

基本文をマスターしよう

1 **基本文** の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

()()()()()().
(主語) (be 動詞) 驚いた これを見て

2 「私は...して～でした」という絵の人物の気持ちを伝える文を、**excited** の語を使って書こう。



私は宝くじが当たって興奮していました。 **excited**

I was ()() win a lottery.

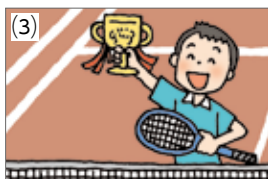
win a lottery (宝くじが当たる)



私はバッグをなくして悲しかったです。 **sad**

I was ()() my bag.

lose (...をなくす)



私は1位になってうれしかったです。 **happy**

I ()() first place.

win first place (1位になる)

3 日本語に合うように、()内の動詞を使って英文を完成させよう。

(1) ケンはサッカー選手に会って驚きました。(see)

Ken was _____ a soccer player.

(2) マリコはその知らせを聞いて驚きました。(hear)

news (知らせ, ニュース)

Mariko was _____ the news.